

## 平成 28 年度まちづくり座談会における質問・要望事項と回答

■鷹山地区：7月19日（火）午後7時30分～9時 参加者数 50名

Q. 圃場整備が終盤となり、区長登記解消に向けた地籍調査も平成 26 年度と 27 年度で 37 町歩実施した。地籍調査については、一層のご指導を賜りたいとともに、御影沼の改修及び小橋線の改修、滝野・萩野境の掘割の拡幅をお願いしたい。

A. 区長登記は約 400ha（町歩）あるが、平成 26 年度と 27 年度で御影沼周辺を 12 町歩実施し、現在は認定を進めている状況。引き続き今年度より御影沼から山道までの間の 25 町歩を実施している。前年度よりも人的体制は 1 名増となり、できるだけ早く終了できるように努めている。また、今年度から関係者の皆さんの協力をいただきながら「先行杭打ち」を実施していく予定なので、よろしくをお願いしたい。

山道の萩野側の左岸部については現地を確認させていただいた。道路構造令に合致した構造だと、高低差があって難しいため、どういったことができるか検討中であり、道路改良が終わったところから車の転回所等を設けた上で舗装していきたいと考えている。しかし、町内でかなりの箇所の要望があるので、優先順位を検討しながら実施していきたい。

掘割についてはだいぶ見通しが悪いということと、国道 348 号にタッチするところが急勾配で、とくに冬期間は危険だということと要望をいただき、現場を確認させていただいた。難しい部分ではあるが、県と協議をしながら進めていきたい。

御影沼については、平成 23 年度に県営事業の「地域溜池総合整備事業」で採択された。しかし、土地の問題が解決しないと事業に着手できないということから事業が中断している状況となっている。そこで、地籍調査の目途がつき次第、県営事業の調査の方から着手できるように事業要望していきたいと考えている。時期については未定だが、来年度からできるかどうか検討しながら進めていきたい。なお、防災の関係もあって管理の方も大変かと思うが、よろしくをお願いしたい。また、圃場整備は第 7 工区と終盤にきており、予算の方も順調にきている。国、県全体の中でも新規採択がされてなかったりしているが、萩野地区については順調にきている。

Q. 合併浄化槽について、町中心部は下水道として管理されていると思うが、鷹山地区の合併浄化槽の普及率及び、個人管理と町管理の 2 種類についてお聞きしたい。

A. 平成 3 年の「全町下水道構想」により、町全体を下水道化していこうということで構想を練り、実施している。公共下水道は、主に荒砥、鮎貝及びその周辺の市街地を整備しているもので、490ha ほどとなっている。また、浅立と西高玉が「農業集落排水事業」ということで整備をした。それ以外の地区については、町設置型の合併浄化槽ということで

整備を進めている。いずれにしても、個人の負担を平等にしようということで、公共下水道が始まったところについては面積当たりで負担金を頂戴したところだが、周辺部においては宅地部が広いということから1マス20万円で整備した。集排についても同じく1マス20万円を負担いただき、管理料を下水道使用料として徴収している。また、合併浄化槽を個人設置している方については、町へ寄付していただき、使用料をいただいて町が管理するということが制度上で可能となっている。合併浄化槽以外の部分については、原則的に個人負担で管理していただくことになっている。

Q. 町に管理をお願いすることになった際、設置年月日に違いはあるのか。また、今後も20万円の負担で浄化槽を設置してもらえるのか。

A. 町設置型のものについては年間35基を設置しており、今後も継続していく計画となっている。また、個人設置のものについては管理がしっかりなされていることが原則で、壊れていないものであれば寄付を受ける。

Q. 南陽市民会館は全国から注目されているが、同じく木造の複合施設はどのような特徴があつて、こういったところを売りにするのか。

A. 一番の売りは町産材を使うところだと考えている。町民の皆さんが使いやすい施設を目指し、図書館については1階に設置し、蔵書は現在の5万から7~8万までスペースを広げる計画となっている。また、以前あったような大ホールのようなものはないが、大きな会議ができるような施設をつくりたいと考えている。できるだけ多くの町民の方が集まれるような施設にしようと考えている。さらに、町内で木材を加工する場所や人を集めることで、木材産業の再生を図っていきたい。

Q. 町民ラウンジや図書館を利用する際、鷹山地区からの足がないため、無料バスを用意していただくことは可能か。

A. 交通の足の確保については現在2通りある。1つはスクールバスを利用した町営バスで、中山~荒砥、大瀬~荒砥の2区間で運行している。ただし、朝夕の運行のため、時間が限定されるということがあるかもしれない。もう1つはデマンドタクシーで、こちらは利用のために登録した上で予約していただければ、1時間に1回という時間帯で利用することが可能となっている。現在は以上の2通りとなっているが、町民の皆さんがより利用しやすい方法を今後検討していきたい。

Q. 防犯に関して、荒砥方面は全ての電柱に防犯灯が設置されているが、萩野方面になる

と 2~3 本に 1 つの割合でしか設置されていないのはなぜか。

A. 防犯灯については町で設置基準を掲げている。例えば、公道に面した場所で、小中学校の通学路及び多数の歩行者が通る主要な箇所であること、道路の照明灯からおおむね 100m にわたって照明がないところ、防犯灯の間隔についてはおおむね 100m に 1 基という基準を設けている。また、道路に面した大きな照明については街路灯という区分になっている。ただし、設置間隔を満たしていない場所でも、曲がり角や建物の影などについては現地を調査して判断させていただいている。

Q. 複合施設には災害対策本部も設置するようだが、東日本大震災のケースを想定した際に、通信の面（アマチュア無線愛好者との連携など）についてはどう考えているのか。

A. 現段階ではアマチュア無線の愛好者との連携は想定しておらず、各消防幹部の皆さんに配布している消防無線をベースに対応していきたいと考えている。また、区長、副区長の皆さんにおいては、携帯電話の番号をお聞きして対応している。状況等をお知らせする方法としては、メールの配信や町ホームページの活用など、できる範囲で配信していきたいと考えている。さらに、自主防災の代表の方のもとへ車等で状況をお知らせした事例もあるので、アマチュア無線の愛好者の皆さんとともに対応できる状況があれば前向きに検討していきたい。

Q. 複合施設にはバイオ燃料を使うという話があったが、バイオ燃料の調達はどう考えているのか。

A. バイオマスボイラーの燃料としては、町内で採れた木材をチップ化して使いたいと考えている。

Q. 木材の加工施設や設備を町内に設置して雇用拡大につなげていただきたい。

A. その方向で検討させていただいている。

Q. 白鷹中学校の PTA 地区懇談会においてスクールバスが混むという話が出たが、現状を教えてください。

A. そのような話は初めてお聞きした。詳細については確認させていただくが、基本的にスクールバスが混んで乗れないという状況はないと思っただきたい。

Q. 町のイベント等について、観光協会や町のホームページの活用、さらには連絡協議会なども設置して、地域おこしやI・Uターン等に結びつけていただきたい。

A. 大きなものから小さなものまで、年間を通じてさまざまなイベントがあるので、その中身を聞き取りして検討させていただきたい。

Q. レク大会を9月に予定しているが、校舎南側の草刈り及びグラウンドの整備をお願いしたい。

A. グラウンドの整備については町で行わせていただく。校舎南側の草刈りについては防災管財係と調整させていただく。

Q. 複合施設の建設については、議会との関係でスケジュールに変更が出ることはないようをお願いしたい。

A. 3月の議会で反対討論が出たが、当初予算は原案通り採決され、現段階では順調に進んでいると理解している。